

## 技術委員会より

技術委員長 (株)マグエックス  
伊田 壮

日増しに春めいてまいりましたが、皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、日本の経済はここ数年、2008年のリーマンショックに始まり、景気が持ち直しつつある中、東日本大震災に見舞われ、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。それに続く原子力災害の影響及び円高のあおりを受けて、依然として厳しい状況にあると言えるが、このところ緩やかであるが、景気回復の兆しが見え始めている。自動車業界を始め、多くの企業が苦境に立たされ、苦難を乗り越えようとしている。こうした中、BM協会会員の各企業の有する技術は世界に誇れるものばかりであり、電子化が高度化・発展する中で、協会会員の皆様の役割は重要性を増すばかりである。世界に誇れる技術の強さを発揮し、経済を活性化し、日本を元気にして欲しいと願うものである。

平成23年度後半の技術委員会の活動状況について報告します。

### < 第80回技術例会 >

平成23年9月15日

- 1) エネルギー・ハーベスティング技術の最新動向 (竹内講師)
- 2) 欧米で流行るバッテリーレス無線技術 (坂梨講師)
- 3) フェライト磁石を用いたハイブリッド

自動車用アキシアルギャップモータの開発 (竹本講師)

- 4) 高密度ダストコアの開発とチョークコイル性能の評価 (前田講師)
- 5) ダスト系 SMD インダクタの開発 (大槻講師)
- 6) 使用済み家電製品からのネオジム磁石のリサイクル (新井講師)

### < BM30周年記念シンポジウム >

平成23年12月9日

- 1) 希土類ボンド磁石の現状と将来 (原田講師)
- 2) Up Date of MQI (Greg Kroll)
- 3) Sm<sub>2</sub>Fe<sub>17</sub>N<sub>3</sub> ボンド磁石の開発状況 (多田講師)
- 4) NdFeB ボンド磁石 "New マグファイン" の展開状況 (御手洗講師)
- 5) ボンド軟磁性材料・序論 (藤森講師)
- 6) 大電流対応リアクトル用圧粉磁心 (加藤講師)
- 7) 圧粉磁心用 Fe-Si 噴霧粉について (武本講師)
- 8) ノイズ抑制シートの変遷と展望 (吉田講師)
- 9) フェライト系ボンド磁石の発展経緯と今後の動向 (芳賀講師)
- 10) 協会創立30周年を顧みてのボンド磁石の生い立ちと歩み (阿部講師)
- 11) 招待講演のご紹介 (浜野講師)
- 12) 含 RE 深海底鉱物資源 - 探査の現状と開発への課題 (細井講師)
- 13) NdFeB 磁石の30年と今後 (佐川講師)

### < 寺子屋 BM 塾 >

平成23年度10期講座

- 1) 2011年9月2日「永久磁石の基礎とネオジウム磁石の発明秘話」

(浜野講師)・・・終了

- 2) 2011年10月14日「保磁力とは何か、その発現と増強のセオリー」 (小林講師)・・・終了
- 3) 2011年11月18日「ネオジム磁石の最近の諸問題とその対応策」 (徳永講師)・・・終了

平成24年度11期講座予定

- 1) 2012年5月「フェライト系ハード&ソフト磁性材料の基礎物性」(山元講師)
- 2) 2012年6月「フェライト焼結磁石の歴史・現状・展望」(皆地講師)
- 3) 2012年7月「フェライトボンド磁石の歴史・現状・展望」(井上講師)

5月17日予定の第81回技術例会は「希土類資源と磁石応用の新展開」と題して、①企画委員会報告、②モーター関連、③中国以外の希土類、④電気自動車、⑤小型水力発電、⑥エレベーター、⑦消磁方法等、中国以外の希土類資源の最新状況と最先端の磁石材料の応用技術の全貌がつかめるよう、各分野の著名な講師の先生方をお招きし、皆様の要望に添えるべく、各技術委員が鋭意努力しておりますので、ご期待頂きたいと思っております。

6月8日に開催される総会をもって、次期技術委員長に引き継ぎます。1年間、各技術委員を始め、多くの皆様方のご協力・ご支援を頂き、また楽しく仕事をさせて頂き、感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後とも、協会活動への変らぬご支援・ご指導の程宜しくお願い申し上げます。